

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/12/20号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

70ドル台前半でボックス相場に

NY原油先物相場は、1バレル=70~73ドルをコアに揉み合う展開になった。国際エネルギー機関 (IEA) が来年上期の供給過剰見通しを示したことが上値を圧迫するも、低在庫環境やリスクオン環境が下値を支え、明確な方向性を打ち出すには至らなかった。米連邦公開市場委員会 (FOMC) 後のリスクオン環境、ドル高回避で買いが膨らむ場面も見られたが、新型コロナウイルスの変異株「オミクロン」の感染拡大に対する警戒感も根強く、週を通じて売買が交錯する不安定な地合になった。

IEAは「オミクロン」について、石油需要に対する影響は限定的との見方を示している。既にワクチン接種が進んでいることで、従来のような大きな需要ショックは生じないとしている。特に陸上輸送や石油化学における需要は良好な状態が続く見通しが示されている。ただ、一部の国が渡航制限を導入していることを反映して、2021年と22年の世界石油需要見通しがともに日量10万バレル下方修正された。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (12月10日時点) は、原油が前週比458万バレル減、ガソリンが72万バレル減、石油精製品が285万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

供給過剰見通しで上昇余地は限られる、株価・ドルを見ながらか

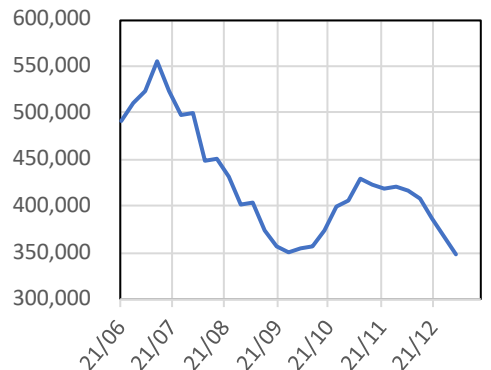
供給不足から供給過剰への移行期とあって、このままクリスマス休暇に向けて売買が交錯し易い。足元では冬の暖房用エネルギー需要の拡大、低在庫環境が下値を支える。短期需給のタイト感が強く、70ドル割れでは押し目買いが入り易い。一方で、冬の需要期明け後は需給が緩み易く、更に「オミクロン」による需要不安も抱えた状態になる中、改めて70ドル台後半を打診するようなエネルギーは欠いている。株価やドル相場の動向次第で上下に振れるが、クリスマス休暇入りする市場参加者も急激に増えており、決定打を欠き易い。

IEAは、2022年1~3月期は日量170万バレル、4~6月期は200万バレル、それぞれ供給過剰になるとの見通しを示した。足元では在庫の取り崩しが急ピッチに進んでいるが、今後は需要を上回る供給が可能としている。冬の需要期がピークを過ぎると、在庫積み増しが再開され易いとの見方が、原油相場の上昇余地を限定する。

一方で、投資不足問題は深刻化しており、中長期的には需要の伸びをカバーできる供給量を確保することは難しくなっている。サウジアラビアのアブドルアジズ・エネルギー相も、世界にエネルギー危機が訪れると警告を発している。このため価格水準を大きく押し下げることも難しい情勢になる。大きく値下がりする程に、将来の需給ひっ迫リスクは高まる関係性にある。

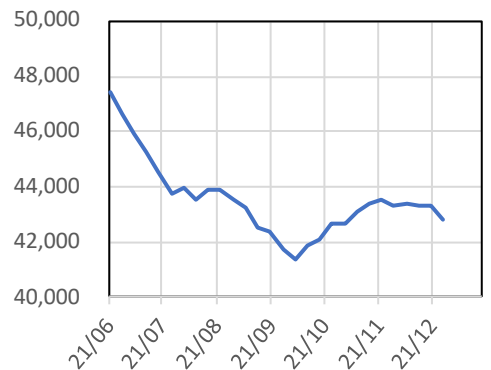
「オミクロン」に関しては深刻な需要ショックに発展しないとの見方が強いが、世界各国が渡航規制や行動規制の強化を進めている。感染状況を巡る動向、ワクチンや治療薬の対応を巡るヘッドラインに注意したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



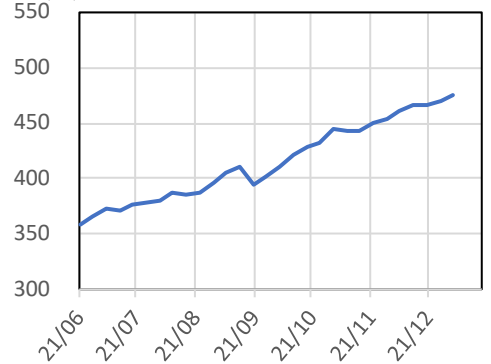
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

